

Title	平成7年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1996, 23, p. 60-61
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23922
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

平成7年度事業報告

(財)大阪癌研究会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から56名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長 豊島久真男—大阪府立成人病センター総長他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

2. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌22号を刊行し配布した。また、癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成7年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏名	所属機関	研究テーマ
塩田真美	東京大学 医学研究所	染色体転座t(2;5)(p23;q35)を持つヒト未分化大細胞リンパ腫に特異物に発現するキメラ蛋白質P80NPM/ALKとその遺伝子を用いた、本腫瘍発生秩序の解明と臨床診断、治療法の開発
小堀信秀	京都府立医科大学 附属脳・脳血管系 老化研究センター	癌特異的遺伝子発現のinsituイメージング法の開発及び癌遺伝子治療への応用
沖野孝	京都大学 医学部	腫瘍抗原にてパルスしたプロフェッショナル抗原提示細胞を用いた腫瘍特異的免疫療法の開発
児玉憲	大阪府立 成人病センター	胸膜悪性病変の制御を目的とした胸腔内温熱化学療法の開発
栗山啓子	大阪府立 成人病センター研究所	肺腫瘍性病変の三次元表示による診断—診断基準の確立とその定量的評価—
松浦晃洋	札幌医科大学	癌細胞特異的T細胞レセプター(TCR)を用いたヒト癌の遺伝子治療
大坪素秋	久留米大学 分子生命化学研究所	サイクリン依存性キナーゼ阻害因子による血球系細胞分化のコントロールと白血病化の分子機構

氏 名	所 属 機 関	研 究 テ ー マ
井 上 雅 美	大 阪 府 立 母 子 保 健 総 合 医 療 セ ン タ ー	CD34陽性造血幹細胞を用いた自家造血幹細胞移植2回法による小児難治固形腫瘍の治療研究
富 田 尚 裕	大 阪 大 学 医 学 部	切除不能消化器癌に対する自殺遺伝子治療の基礎的検討
三 谷 絹 子	東 京 大 学 医 学 部 附 属 病 院	前白血病から白血病への進展に関わる分子機構の解析
石 岡 千 加 史	東 北 大 学 加 齢 医 学 研 究 所	出芽酵母を用いたヒトDNAミスマッチ修復遺伝群の機能診断系開発のための基礎的研究
清 水 英 治	徳 島 大 学 医 学 部	肺癌化学療法への末梢造血幹細胞移植術（PBSCT）臨床応用と細胞遺伝学的及び抗腫瘍免疫学的効果の検討